第79回生学年通信 No.009

喜べば。

2024/09/02(月)

今日から２学期のスタートです。

約40日間の夏休みは、終業式で校長先生が話されたように、「特別な、記憶に残る夏休み」になりましたか？

長い２学期になりますが、学習でも、部活動でも、一番「力の付く」時期になるはずです。大きな行事である体育祭も今月下旬に控えています。「実りの秋」に向け、頑張っていきましょう！

＊＊＊　＊＊＊　＊＊＊　＊＊＊

この夏、**シアトル語学研修**（7/21～30）に参加してくれた６名の感想を紹介します。

英単語がわからなかったりうまく表現できなかったり、自分の力不足を感じた一方で、会話する楽しさをすごく体感できました。即席で上手く文章を作ることができて通じた時はすごく嬉しかったし、現地を訪れることで会話の流れや単語の使い方を直に学ぶことができたので、楽しみながら多くの学びを得ることができたと思います。優しくて素敵な人にもたくさん出会えて、もっとスムーズに会話できたら良いなとこれから英語を学ぶ原動力にもなりました／最初は慣れない英語だけの生活で不安なところもあったけれど、この研修で英語を学ぶことの楽しさを感じられました。また、現地の人と交流して上手く英語でコミュニケーションがとれた時には自分に自信がつきました。アメリカでは、日本よりも気軽にあいさつし合ったり、気さくな人が多かったので、話しかけやすかったです。シアトルにいたのは短い期間だったけれど、その短い期間の中でとても貴重な体験をすることができました／日本で触れることのできない文化や価値観の違いなど、見るもの、感じるもの、どれも新しいものばかりでした。シアトルに行って学んだことはコミュニケーションの大切さです。なぜかというと大学内の食堂の注文や街中の人たちへのインタービューで完璧な文法や正しい発音でなくても話そうとする気持ちが強ければ現地の方は理解してくださったので大切だと思いました／私がこの研修で学んだことの中に、英語に対する意識の変化があります。ワシントン大学内には様々な人がいました。私が研修内で会話した人達は、私の文法に間違いがあっても、日本語訛りが出ても気にせず、むしろ試行錯誤を褒められることもあり驚きました。また、アメリカ外出身者と話す時は向こうも訛っていて聞き取れない時もあり、言語の面白さを体感しました。気さくな人が多く、その場で知り合った人から物を貰うこともありました／僕は、今回シアトルに行ってたくさんのことを学びました。特に文化の違いについてたくさんのことを知りました。ひとつ目は、生活習慣と日常生活の違いです。日本は、ルールや時間を厳守する文化があります。また、公共の場では礼儀作法や静かに行動することが求められています。対してシアトルでは、リラックスした生活スタイルが見られます。また、公共の場でも自由な雰囲気が感じられます。こういった日本とシアトルの文化の違いなどが学べてとてもいい体験ができました／私は海外に行ったことがなく不安や緊張でいっぱいでしたが、楽しいことでいっぱいでした。Amazon本社、スターバックス１号店、本社などの有名な観光地に行ったり、大学で授業を受けたりしました。慣れない環境で家族と離れて過ごすのは大変でしたが、私が特に大変だと感じたのは英語で言いたいこと、自分の気持ちを伝えることです。ジェスチャーなどを使って自分の言いたいことが伝わると達成感が大きく嬉しかったです。

【行事予定（９月～10月）】

９月

２日（月）始業式・大掃除
　　キャンパスカウンセリング
３日（火）課題考査（英・数・国）
９日（月）キャンパスカウンセリング
18日（水）体育祭予行
19日（木）体育祭準備（午後）
20日（金）体育祭
25日（水）体育祭予備日
28日（土）学校説明会（登校日）
30日（月）代休

10月

１日（火）月曜日の時間割
７日（月）キャンパスカウンセリング
15日（火）～18日（金）中間考査
21日（月）キャンパスカウンセリング
28日（月）キャンパスカウンセリング